

### ◆計画の期間

第一次計画は2023年から2027年までの5カ年とします。但し、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば見直しを行います。

### ◆計画を推進するための体制と進行管理

第一次計画推進会議を設置して計画の進行管理を行い、進捗状況の確認や計画の評価を行います。

### ◆策定会議の開催経緯

回	開催日	主な協議事項
1	令和4年 5月17日(火)	・キックオフ ・小地域福祉活動計画づくり導入主旨説明 ・策定会議年間開催日程表、策定者名簿表
2	6月21日(火)	・地域の特色ほか現状把握、課題の洗い出し ・湯川校区全町丁人口動向、マイルストーン表
3	7月27日(木)	・課題の洗い出し、課題の整理とグルーピング (模造紙に課題貼り付け→グルーピング) ・湯川校区人口および高齢化の推移
4	8月16日(火)	・課題の洗い出し、課題の整理とグルーピング ・高齢化が進んでいる地域
5	9月20日(火)	・目標計画と実施項目の設定 ・仮称:湯川校区 絆(きずな)プラン案
6	10月18日(火)	・目標計画と実施項目の設定
7	11月15日(火)	・重点実施項目の設定
8	12月20日(火)	・重点実施項目の決定
9	令和5年 2月21日(火)	・第一次計画の纏めと初年度活動への確認 ・概要版の制作・発行 ・校区の名所・旧跡、伝統行事、活動内容

### おわりに

湯川校区では「健康」「福祉」「防災」「環境」「安全」をキーワードに自治連合会(町内会)、まちづくり協議会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会ほか多くの団体が活動しています。湯川のまちにこれからも安全安心で元気に住み続けたい。私たち校区のボランティアはその期待に少しでも応えられるよう「できる人が、できる時に、できることを協力し合って活動しています。これを機会にみなさまと一緒に活動できれば幸いです。

 湯川校区社会福祉協議会 会長 村内 実

〒800-0257

北九州市小倉南区湯川一丁8番33号 湯川市民センター内 TEL(093)941-1751

## 住民発！小地域福祉活動第一次計画

令和5年(2023)～令和9年(2027)

# 湯川校区の絆(きずな)プラン

 湯川校区社会福祉協議会

## 湯川校区にお住いのみなさまへ

湯川校区では平成6年から「ふれあいネットワーク活動」に取り組み、社協の基本理念「みんなが安心して安全に暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、住民主体の地域福祉活動を日々進めて来ました。

今、私たちが長く続けてきた地域活動の根底を覆す感染症拡大の渦中にいます。

人と人のつながりが薄れていく中で、「小地域福祉活動計画」を策定して、自分たちが住んでいる地域の課題を話し合い、将来のまちの姿を描き、具体化していくための取り組みが必要になっています。

今までの活動をより強くより確かなものにするため、そして新しい絆づくりを再始動する第一次計画の活動を地域のみなさまとご一緒に推進してまいります。

【湯川校区社会福祉協議会 会長 村内 実】

### 令和4年度 小地域福祉活動計画づくり策定会議の皆さま(敬称略)

- ◆北九州ヘルケアサービス湯川(小野晃)
- ◆北九州社会福祉協議会小倉南区事務所(大矢剛・木場寿子)
- ◆小倉南区役所保健福祉課保健福祉第二係(川口泉輝)
- ◆第三町内会(南竜美・中村浄志) ◆湯川市民センター(白川和朗)
- ◆健康づくり推進委員(松木裕子) ◆湯川地区民児協(近藤哲也・河野広美)
- ◆校区社会福祉協議会(山岡信幸・柳井一二・松田眞壽美・永留英子・木村國子)

# 地域と人がつながり 支え合うまち 湯川

湯川校区社協 小地域福祉活動第一次計画 令和5年(2023)～令和9年(2027)

## 基本目標

### 基本目標1

安全安心、清潔で美しい地域づくりに努め、誰もが住みたいと思うまちづくりにしよう

### 基本目標2

生活上の困り事相談・支援など暮らしを支え合う、助け合うまちづくりにしよう

### 基本目標3

高齢者や一人暮らしの人とのふれあいの輪を広げ、思いやりのある優しいまちづくりにしよう

### 基本目標4

地域交流、世代交流の絆を深め福祉活動を推進し住みよい楽しいまちづくりにしよう

## 実施項目

### 1. 自主防災、生活道路等の安全確保

- ①ハザードマップ、避難経路、危険予知訓練
- ②見守り、生活環境パトロールの実施

### 2. 清掃活動の発展的継続

- ①美化コンテストの検討(モデルエリア)

### ①ふれあいネットワーク(FNW)活動

話し合い 見守り 助け合い



会場病院・老健施設参加の連絡調整会議



活動拠点 湯川市民センター

### 1. 困りごと支援の働きかけ、構築拡大

- ①運営体勢や相談窓口の設置
- ②まちぐるみの支援拡大(ボランティア要員)
- ③社会奉仕活動の場(機会)を設ける

### 2. 買い物支援の推進

- ①移動販売などの誘致促進
- ②百円ショップなど地域農家との連携模索

策定委員によるグループワーキング



小地域福祉活動計画策定会議

### ②地域共生社会の実現



小地域福祉計画 ウェルクラブ 新設 サロン

### 1. 高齢者や障害者、地域住民との交流

- ①障害者や認知症者カフェなどの設置検討

### 2. 【重点項目1】孤立、孤独、ひきこもりを抑止するサロン活動の新設

- ①独居世帯高齢者交流会のサロン化及び第三町内有志サロン新設の支援

### 3. 各種行事への勧誘(声かけ)運動

- ①まち協、学校、町内会、老人会等の行事
- ②ひとり暮らし世帯高齢者交流会や健康福祉セミナー

### 4. 見守り、訪問活動の活性化と情報収集

- ①ニーズや課題の把握、活動計画への反映
- ②福祉協力員スキルアップ(施設見学・研修参加)
- ③福祉台帳、訪問台帳の整備



### 1. 次世代地域福祉活動者育成と世代間交流活動を推進

- ①交流の場を設置し人材の発掘、育成を図る
- ②多世代及び地域交流のための行事の開催
- ③学校行事とPTA関係者との交流の場拡大(昔遊び、火おこし、福祉協力員活動体験など)
- ④ウェルクラブや子供会の復活推進

### 2. 【重点項目2】情報紙やホームページを活用した広報活動や新しいPR方法の模索

- ①広報活動の場を広げる講座やレクの検討
- ②SNSを活用した広報・情宣の導入を検討
- ③町内回覧板による高齢者宅以外へ配布(福祉活動のPR拡大や後継者発掘)

P-D-C-Aを廻す



管理サークルの輪を閉じる